



## はな 鼻はどんなはたらきをしているの

### はい 肺へ、きれいな、やさしいくうきをおく

鼻の第一のはたらきは、吸ったくうきを、あたたしめけたり、湿り気をあたえたり、ちりやごみを取ったりして、肺へ、きれいな、やさしいくうきをおくことです。

そして、第二には、においをかぐこと。第三には、声に特色をもたせることです。

### はい 肺へ、きれいな、やさしいくうきをおく

まず、鼻の入り口には鼻毛があり、空気の中のごみを、取り除きます。

鼻の内部には「鼻くう」という空間があって、たくさんのほそけっかんがきており、空気はここであたたしめけられたり、湿り気をあたえられたりします。

「鼻くう」のほほ側のかべには、鼻甲介とよばれるほねせいのたながあります。その表面にはねんまく（ねばねばしてしめたうすいまく）があり、そのねんまくからは、「ねんえき」（ねばりのあるえきたい）が出ていて、入ってきたちりやごみを、くっつけて取ります。

なみだは、ないたときだけでなく、いつもすこずつでており、めから鼻へつながる、ほそいくだから、鼻へながれています。この、鼻へ流れてきたなみだと、ちりやごみをくっつけた「ねんえき」が、いっしょになったのがはなみずです。（監修・保志 宏）

「鼻くう」の中

